

# KOCHI ROTARY CLUB

2021  
2022

SINCE 1937



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために  
2021-22年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3502回 2022年5月31日 2022年6月7日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。先週に続き、会員相互の交流促進に向けて、今日は新入会員の出身地の話題からスタートします。

4月に入会されたJALの山中さんが兵庫県、アサヒの寺本さんが京都府、みずほの松田さんが兵庫県、東京海上の西さんが鹿児島県、四国日立の長井さんは愛媛県今治市、野村證券の水野さんは、住みたい町日本一の武蔵野市吉祥寺。高知RCはいろんな出身地の方がいて、多様性に満ちているところが大きな魅力の一つだと感じます。

私自身も福岡県北九州市小倉に3歳までいて、その後、東京、20代後半でアメリカ、32歳で高知に移住してきました。高知RCに入会したとき既にいらっしゃる会員の皆さんは、全員地元のご出身だというイメージでしたが、知り合っていくうちに、あにはからんや、出身地はバラエティに飛んでいて、いろんな話が伺える楽しい会であると分かりました。

杉本さんは長野県のお生まれで、すぐに東京に移り、山脇学園に通い帝京大学に入ったところで、高知県出身のご主



人に見初められて高知に来られたとのことでした。佐竹副幹事は生まれは兵庫県、その後、金沢、高松、東京、あちこちに住んで、大人になってから高知に来られたということで、最近土佐弁がぼつちり話せるようになったようです。

南さんは栃木県宇都宮市、入交英太君は兵庫県の甲子園のすぐ近くで育った甲子園っ子です。全国司法書士協会の大御所である細田さんは滋賀県彦根市。意外なところでは、中田由季さんは、時々タコパ（たこ焼きパーティー）に呼んでくださいますが、10歳までは大阪で育って高知に戻ってきたとお聞きしました。

素晴らしい仲間が大勢揃っている高知RCです。いろんな出身地の皆さんがここに集って、大好きな高知を元気にしようというこの会は、本当に素晴らしいと感じます。

今日、卓話をしてくださる神田先生は、今、大月町にお住いで、スキューバダイビングの達人。タンク100本分ぐらい入るとベテランダイバーと言われますが、先生は8,000～9,000本近く海に潜って、いろんな活動をされていると伺いました。

それでは、今日も Let's enjoy our 高知ロータリー



### ■本日のプログラム [6月7日]

ゲストスピーチ

高知カツオ県民会議 会長代理(高知大学理事)

受田 浩之氏

「MSC認証とは？」

～持続可能なカツオ漁業と消費者の責務～

会	長	入	交	章	二
副	会	杉	本	芙	美
幹	事	中	澤	清	一
副	幹	佐	竹	新	市
会	報	佐	竹	新	市
責	任	亥	角	政	春

## ● ローターソング「四つのテスト」

## ● ゲストスピーチ

### 高知県柏島 島が丸ごとミュージアム ～持続可能な里海づくり～

NPO法人黒潮実感センター センター長  
高知大学客員准教授・神戸大学非常勤講師 神田 優氏



私の出身は高知市長浜です。幼少期、父の仕事の都合で大阪で10年間過ごして、高知へ戻ってきました。

柏島に学生時代から魅せられて1998年に移住しました。最近でこそ、柏島に行ったことがある、見聞きしたことがある人が増えましたが、

20年前はほとんどいませんでした。船が宙に浮いているように見えるとか、黒潮が接岸してくる秋口には最大30m向こうまで見えるぐらいの透明度を誇り、本当に日本の海なのかと思うほどです。大月町にはマグロの養殖業者が4業者あり、柏島が最も古く、マグロ養殖が盛んにされています。

私は趣味と実益を兼ねて、学生時代からダイビングのガイドをしながら、さらに潜って魚の研究をするフィールドワーカーとして、魚を見続けてきました。陸上よりも水中の方が、本当は性に合っていますし、今日はスーツを着ていますが通常はウェットスーツを着ています。陸に上がるとちょっと弱くなり、海の中では無敵です。

柏島は昔から魚の種類が多く、2013年のデータでは1,150種類を超えていて、この数は、沖縄や小笠原をしのいで、全国で最も多いことが分かってきました。通常、生物多様性が高いというと熱帯や亜熱帯の南の海というイメージですが、温帯の柏島に生物多様性があるというのが素晴らしいところだと思っています。島の最大の魅力は、人が暮らしているすぐ前の海にこれだけ多くの種類、多くの数の魚がいて、そして、魚が人に怖じないところだと思っています。

皆さんは、里山という言葉をご存知だと思います。人の手が加わったことで維持されている人的な自然があるのが里山。それに対して、里海もあっていいのではないかと1998年に、私が里海という言葉を作り出しました。人が海からの豊かな恵みを一方的に享受するだけではなく、人もまた海を耕し、育み、そして守る。人と海の生き物が共存できるような海を里海だと捉えています。

そして今、私たちはこの柏島で、持続可能な里海のモデルをつくろうと活動しています。

コンセプトを「島が丸ごとミュージアム」とし、自然環境だけでなく、そこで生活している人々の暮らしも含めて丸ごとミュージアムと考え、持続可能な里海をつくっていくために、自然を実感する。自然を生かした暮らしづくりのお手伝



い。自然と暮らしを守る。大きくこの三つの取り組みをしています。

柏島は海だけではなく、陸の自然環境も素晴らしく、ありとあらゆるアクティビティができます。夏には全国から子どもたちがサマースクールで来て、海が好きになって毎年リピーターとなって来てくれます。長い子は小学校3年生から高校卒業まで毎年、大学生になるとボランティアで来て、手伝ってくれたりします。

海の中の森づくり。サンゴ礁や藻場があることによって、多種多様な生き物を育むことができますが、地球温暖化による海水温の上昇に伴い、海の中の環境は年々変化しつつあります。私が移住した二十数年前の海は、最低水温は15度ぐらいまで下がりましたが、ここ数年は16、17度で下げ止まります。わずか1、2度じゃないかと思われるかもしれませんが、水の1度は気温にすると3～4度の変化に値します。ですから、2度という陸上の私たちでは6～8度違うことになります。海藻は比較的涼しい場所に生えます。海藻が繁茂する場所は、小魚の保育場となって稚魚やアオリイカの産卵場として重要ですが、それが海水温上昇など様々な要因で磯焼けにより海藻が生えなくなっています。

森は海の恋人という言葉があります。山から運ばれて来る栄養分によって、海が豊かになるわけで、豊かな海をつくるには山を豊かにする必要があります。森林がしっかりとしていると、蓄えられた腐葉土からたくさんの栄養分が海に流れます。

高知県は84%という全国一の森林率です。その内の65%が人工林で材を取るために伐採して、枝や葉はそのまま捨てられます。私は、その捨てられたヒノキの枝葉を海藻の代わりに藻場にして、イカの産卵床を大月小学校の6年生と一緒に作っています。通常、一つの木に数十から数百房付けば成功と言われている中で、一番多いのは1万5,000房、卵の数では10万個が産み付けられて、全国で一番成功している事例ではないかと思っています。地元のイカの資源を増やすとともに、子どもたちの環境教育の題材となっています。

柏島は漁業が盛んな島ですが、そこにダイビング業という新たな海洋レジャーが入ったことによって、漁業者とダイバーとの衝突が起きました。ちょうどイカが捕れなくなった時期とダイバーが増えた時期が重なり、漁業者がダイバーを追い出そうというマイナスの要因が出ました。そこで2001年、私が間に入ってダイバーと漁業者が協力してイカを増やそうと提案し、始めたのがこの取り組みです。2年後、この活動を地元の子どものための環境教育のプログラムにして、森と川と海のつながりを学ぶ教材とするため、林業関係者も巻き



込みました。このように、子どもを核にすることによって、漁業者、ダイバー、林業関係者がうまく結びついて、現在につながっています。

少しずつこの活動が広く知られるようになり、全国の人たちに産卵床を1本1万円で購入してもらい、最終的には1キロ強のイカをオーナーの方に送るというシステムをつくり、現在は百数十のオーナーがいます。



その他、藻食性のウニの適正密度までの駆除などを行っています。魚のゆりかごとしての藻場再生だけでなく、柏島の風物詩であるトコロテンの原料のテ

ングサも少なくなっていますので、これを復活させようとテングサの藻場再生にも取り組んでいます。

海の中の食物連鎖をイメージすると、森からの栄養源というチツソヤリンは目に見えませんが、それによって増える植物プランクトン、それを食べる動物プランクトン、それが例えばドロメに食べられることによって初めて人間の目に触れます。そのドロメが大きくなるとマイワシやカタクチイワシ、ウルメイワシになり、それをカツオが食べる。つまり、高知の84%の森が高知のカツオを育むことにつながっていると考え、今、84ドロメの森づくりという活動を展開しています。まだまだこれからですが、皆さんにもカツオを底支えしているのは、森であるということを知っていただきたいと思えます。



◇ 例 会 変 更 ◇					
高知東RC	6月 8日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	6月 9日	日時計例会(阪)
高知ロイヤルRC	6月14日	職場例会(旭)	高知南RC	6月16日	ロータリー休日(阪)
高知西RC	6月17日	最終夜間例会(三)	高知北RC	6月20日	年度末家族合同夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	6月21日	最終夜間例会(旭)	高知中央RC	6月23日	夜間例会(城)
高知北RC	6月27日	ロータリー休日(三)	高知 R C	6月28日	あじさい夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	6月28日	ロータリー休日(旭)	高知東RC	6月29日	最終夜間例会(阪)
高知南RC	6月30日	最終夜間例会(阪)	高知中央RC	6月30日	ロータリー休日(城)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

### ニコニコ箱 【敬称略】

- 森本 征彦 神田さん、本日は卓話ありがとうございました。神田さんは私や中村会員と同じ長浜横田野町内会ご出身です。いつものご活躍改めて納得しました。今後のご活躍を祈念申し上げます。
- 森本 道義 誕生日と結婚記念日のお祝いいただきまして、誠にありがとうございます。月初の例会に出席できず、すっかり失念しており慌ててニコニコさせていただきます。
- 亥角 政春 結婚記念日をお祝いいただきありがとうございました。今月初出席となりましたお詫びもかねてニコニコいたします。



### 6月のお祝い

- (会員誕生日) 紫藤 秀久 小林 達司 和泉 潤 三谷 康久 亥角 政春  
 笠井 勇治 入交 英太 櫻井 克年 尾崎 典之 藤田 徹也  
 西 幸浩 中田 由季 入交 章二 各会員
- (配偶者誕生日) 竜口真知子 会員配偶者
- (結婚記念日) 岡 亮助 山本 晋爾 三谷 康久 松田 忠久 各会員



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
5月31日	(-3)93	67	15	3	82%
5月17日	(-11)93	59	14	10	83%

### ● 累計額 [5月31日現在]

ニコニコ箱	873,000 円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	145,706 円	ポリオ募金	359,100 円
-------	-----------	--------------------------------	-----------	-------	-----------

### ■ 次週のプログラム [6月14日]

ゲストスピーチ  
 フリーアナウンサー  
 渡辺 さおり 氏  
 「ラジオの話」

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>